

東北土を考える会 総会・研修会

# 大切なのは、どうなる？ ではなく、どうするか！

昨年は、春先の雨と猛暑と異常気象が続いた。ところが、参加メンバーからは昨年も順調に収穫できたという声が飛び交う。今年は「TPP問題」がある。世間で騒がれる「これからどうなるのか？」という不安の声に対して、東北の雄は「自分の経営をどうするか！」と考える。時代を先取りする経営者の討論会を報告する。



1 研修会の様子。会員の6割が参集し、盛会だった。2 初日の講演で講師を務めた田中正保氏。「すべては水の駆け引き」とレバーの使い方も伝授した。3 2日目の講演は、スガノ農機(株)の菅野祥孝相談役。

去る2月5・6日に東北土を考える会の総会・研修会が岩手県花巻市で開催された。東北の農業経営者ら総勢100名以上が集まった。経営者層に加えて、若手の農業者も多く、世代を超えた交流が見られた。

東北土を考える会会長の日野杉雅彦氏の開会宣言に始まった今回のテーマは、「東北農業を今一度洗濯いたし申し候」。2月初旬の圃場は雪に覆われているため、現地検討会に代わってメインは講演と討論会。昨年度の反省と今年の意気込みを語り合う場として賑わった。

## 変化を受け入れられる土づくり

1日目は、鳥取県から田中正保氏(有田中農場)を講師として招き、「今も昔も変わらない土づくり」についての講演が行なわれた。「まず土づくりとして、いかに健全な根が張る条件をつくっていくかが大事。技術はその次」と土づくりの信念が語られた。「ネギの次は田んぼに戻して水を入れる」と話すように、ネギもコメも、輪作体系の中で同じ土づくりを行なっている。変化に対応できる経営の事例に会場は聞き入っていた。

2日目の講演は、スガノ農機(株)相談役の菅野祥孝氏による「積年良土」と題して行なわれた。何から脱して、何に挑んだらいいのか。たとえ話を

用いたわかり易い説明は参加者の心をつかんだ。

## 「リングバトル」は大盛況

初日の講演後に行なわれた討論会は、昨年に引き続き「リングバトル」形式で熱いトークが繰り広げられた。今年のテーマは①農地集積②海外進出の取組み③乾田直播&TPP④世代交代であった。ファシリテーターを務めたのは、木村慎一氏(キムラ・アグリカルチャー・トレイディング)。会場の中央に置かれた机の周りに登壇した参加メンバーに際どい質問で場を盛り上げつつ、中立的立場から進行役を果たした。農業経営者の声を紹介する。

### ①農地集積

自宅から地続きで90haの農地を借り、転作奨励金を全額負担している田中氏(前述)は講演に続いて、「転作奨励金については全額地主に返している」と話した。これを聞いた若手の農業者からは一様に「こんな珍しい方はいない!」と驚きの声が上がった。「農地を借りるときに3年契約、6年契約でも結べるかどうかということが大事。そのためには土地代は払うべし」という意見には、土地を貸してくれる人への気配りが大切であることを改めて再認識するきっかけとなった。

大切なのは、どうなる？ではなく、どうするか！



4 リングバトルの舞台は、会場中央の机。農業者の本音が次々と語られた。5 「土地はただで借りられる」と話す田中氏。  
6 海外進出について自らの経験談を語る佐藤彰一氏。7 8 乾田直播は息子世代の方がギャップがないと話す外崎昭三氏と盛川周祐氏。  
9 藤岡茂憲氏の発言に会場はドッと笑いの渦に。10 11 親子間の経営委譲について語る若手代表の高橋伸氏と加美山大介氏。

## ② 海外進出の取組み

ウクライナへ進出して5年目となる木村慎一氏は、「日本の風土がある限り、日本のコメは最高だと思う。余剰米を世界に売るということができないか」と海外進出で感じたビジネスの可能性に触れた。

一方、欧州などに精米を輸出している佐藤彰一氏（有米シスト庄内）は「商社といかにタッグを組んでいくのか。専門家に任せるのも大事なこと」とコツを伝授。そして、世界に挑む思いでこう呼びかけた。

「世界で穀物相場が上がっている時期ですから、皆と一緒に海外に市場性を持ちませんか？ 大豆が1000円高いとか、助成金あつての生産計画を考えるのでもなくて、日本のコメがどういう立場で生き残れるか。自分の立場は自分で作るといような農業経営者になりましょう」

## ③ 乾田直播&TPP

乾田直播を5年間取り組んできた盛川周祐氏（有盛川農場）いわく「何がどうなっても自分の経営の中では何でも作れる。そこに尽きるのではないか。その延長線上にコメ作りをするなら乾田直播という選択肢がある」。外崎昭三氏は、「一度乾田直播やってしまうと、苗床作って、泥の中に入るの大儀。できれば1年で

も早く乾田直播を全面積に増やしたいという考えもあります」と語った。

一方、藤岡茂憲氏（有藤岡農産）は「自分で農業をやって、できたものをきちんとお客さんに届ける。これ以下でもこれ以上でもないですよ。自分で作ったものには、自分で値段をつけるんですよ。今の若い人たちはもつと自信を持っていいお客さんを探すこと！」と辛口のトークを交えながらもエールを送った。

今年もいよいよ東北にも春がやってくる。今年も支部会を含め、情報交換の場が数多く計画されている。切磋琢磨しながら自らの経営に挑む意気込みが感じられた。



ヒューマンドキュメンタリー 8  
絆～人が交わり 人が飛び立つ～  
■制作・著作：スガノ農機株式会社  
■1,150円（送料・税込）

【お知らせ】東北土を考える会メンバーの取組みがDVDになりました。無代かき移植や乾田直播、果敢に挑戦をつづける東北農業に迫った作品です。上映会には感動の声が多く寄せられています。お求めは農業経営者SHOP（本誌58頁）まで。